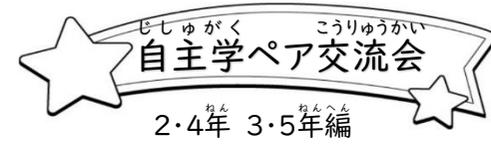


家庭学習通信

No. 5

令和4年11月28日(月)

学力向上委員会



自主学ペア交流会

2・4年 3・5年編

2学期も半分以上過ぎ、行事もたくさんあり、寒暖差も激しく身も心も疲れてくるこの季節、子どもたちも少し疲れが見え始める頃ではないでしょうか。家庭学習も中だるみしてしまうこの時期…。しかし、もう少し頑張れば冬休み!ということで、もうひと踏ん張り頑張っていきましょう。

アンケートをうけて

先日、学習状況調査の分析をしたところ、おうちの方のご協力により、家での学習時間が昨年度よりもさらにたくさん確保できているという結果で、ありがたい気持ちでいっぱいでした。ですが、自分で計画するのが難しいという結果も出ていましたので、今回は家庭学習計画の3つのポイントをお伝えします。

①時間を決める

まずは、勉強を始める時間を決めましょう。ポイントは「毎日少しずつコツコツと」です。よく学年×15分と言われていますが、年齢×1分でもよいとも言われています。一人で決めることが難しい場合は、おうちの方と相談し、お子さんに合った時間を、お子さん主導で決めるとよいでしょう。

②環境を作る

以前は、1人で無音の中、集中がそがれる物がない環境での学習が推奨されてきましたが、学校や後々の受験などでは、当然無音ではなく、様々な音が飛び交っています。近年ではリビング学習が注目されているように、おうちの方の目の届く、雑多な音が聞こえる環境での学習に慣れていたら、普段から安定して力を発揮できるようになるでしょう。

③勉強の量、内容を決める

量や、内容を決める時に大事なことは「今日何を勉強するのか」ということを明確にすることです。「予習・復習」も大切ですが、少し漠然としてしまいがちになるので、「漢字ドリル丁寧に1ページ」などやることを単純かつ具体的にしておくことと取り組みやすいでしょう。また、とりかかりは、自分の好きな教科、得意なことからはじめてもよいかもしれません。

先日、「家庭学習の意欲喚起」「ペア学年交流を深める」をテーマに、自主学交流会を開きました。2、3年生は4、5年生の自主学習を見て、「びっしり書いてすごい!」など、勉強になっていた様子で、4、5年生も、2、3年生の自主学習の頑張りを見て、刺激を受けていた様子でした。(1・6年生は後日行いますので、次号でお知らせします)

